

高齢者の社会参加に係る愛知県の取組

2019年7月31日（水）
第2回高齢社会懇談会

目 次

- 1 あいちシルバーカレッジの開講
- 2 あいち介護サポーターバンクの運営
- 3 地域学校協働活動への参画支援
- 4 高齢者の地域コミュニティへの参加促進

1 あいちシルバーカレッジの開講

高齢者に学習の機会を提供することにより、高齢者自らの学習意欲を助長し、もって生きがいと健康づくりを図るとともに、地域の社会活動の中核となる人材を養成する。

○定員(2019年度) 630名(2018年度 630名)

学 科	定 員	学 科	定 員
名古屋A 文化教養学科	100名 (100名)	豊橋 文化教養学科	80名 (80名)
名古屋A 生きがい健康学科	50名 (50名)	岡崎 文化教養学科	100名 (90名)
名古屋B 文化教養学科	100名 (100名)	一宮 文化教養学科	90名 (90名)
名古屋B 生きがい健康学科	50名 (50名)	東海 生きがい健康学科	60名 (70名)

()内は2018年度

○修業年限 1年(年間30日)

○在校生の状況

- ・男性 241名、女性389名
- ・平均年齢:70.1歳(男性最高齢:88歳、女性最高齢:83歳)

1 あいちシルバーカレッジの開講

○学習内容(講師:県内大学教授、医師、弁護士等)

学 科		学 習 内 容
共通 科目	一般教養科目	作者とともに「老いの風景を味わおう」、相続・遺言の一般常識、10年長生きするIT活用術、クラシック音楽への誘い、次の地震に備えて、歌舞伎ばなし など
	地域活動支援科目	今の人生に楽しさと生きがい、地域社会と高齢者、生涯学習と高齢者 など
専門 科目	文化教養学科	郷土の文学、古画を読む、川柳を楽しもう、地域のことば、外国文化、愛知の官道と古代遺跡、日本のやきもの、海洋生物のおかれている状況と人間活動 など
	生きがい健康学科	ライフサイクルの中の高齢期、健康で元気に生きる、家庭でできる健康体操、高齢者の食生活、老化の研究の最前線、薬と上手に付き合う方法、日本茶の歴史と効用 など

講義のほか、修学旅行(1泊2日)や社会見学(日帰り)を実施することで学生同士の交流を深める。



2 あいち介護サポーターバンクの運営

アクティブシニアを始めとした幅広い人材層の参入を促すため、「介護に関する入門的研修」の受講者をあいち介護サポーターとして登録し、介護事業所からの紹介依頼に応じてマッチングを行う。

○研修内容

- ・基礎講座(半日間)
⇒介護に関する基礎知識、介護保険サービス、介護予防体操
- ・入門講座(3日間)
⇒基本的な介護の方法、認知症・障害の理解 等

○活動内容

清掃、配膳、利用者の話相手 等

○登録者数(2018年度)

273人 [60歳以上 145人]

○マッチング件数(2018年度)

173件 [60歳以上 96件]



3 地域学校協働活動への参画支援

子供の成長を軸として地域と学校が連携・協働する地域学校協働活動に参画できるよう支援することで、高齢者個々の自己実現を目指すとともに、地域の将来を担う人材の育成と地域の活性化を図る。

○活動内容

- ・放課後子供教室※₁や地域未来塾※₂等による居場所づくり・学習支援
- ・本の読み聞かせや学校環境の整備等の様々な学校への支援活動
- ・地域の自然や文化、伝統を学ぶ等の体験活動支援

○活動への支援

- ・放課後子供教室や地域未来塾等を実施する市町村への事業費補助
- ・地域と学校をつなぐ地域コーディネーター等の育成
- ・地域学校協働活動推進に向けた啓発

※1 放課後子供教室:放課後等に全ての児童を対象として学習や体験・交流活動を行う事業
2018年度:29市町309教室(名古屋市・中核市を除く。)

※2 地域未来塾:学習が遅れがちな中学生等を対象に実施する原則無料の学習支援
2018年度:18市町62中学校区(名古屋市・中核市を除く。)

3 地域学校協働活動への参画支援

様々な地域学校協働活動

定義

「地域学校協働活動」とは、幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして、以下の様々な取組を組み合わせる実施する活動

学びによるまちづくり・ 地域課題解決型学習・郷土学習

- ◆地域資源を理解し、その魅力を伝えたり、地域活性化のための方策を考え、実行する学習活動
- ◆「ふるさと」について地域住民から学び、自ら地域について調べたり発表したりする学習活動
- ◆地域の産業や商店街の職場体験学習、郷土の伝統・文化芸能学習 など



放課後子供教室

- ◆地域住民の参画を得て、放課後等に全ての児童を対象として行う、学習や体験・交流といった多様な活動



地域未来塾

- ◆中学生・高校生等を対象に、教員OBや大学生などの地域住民の協力によって行う学習支援



家庭教育支援活動

- ◆寄り添いが必要な子供、不登校傾向のある子供等への対応について、保護者が学び合う機会づくり など



学校に対する多様な協力活動

- ◆登下校の見守り、花壇や通学路等の学校周辺環境の整備、子供たちへの本の読み聞かせ、授業の補助や部活動の支援 など



地域の行事、イベント、お祭り、ボランティア活動等への参画

- ◆地域イベントにおけるボランティア体験学習、伝統行事やお祭りでの伝統文化・芸能の発表や楽器の演奏、地域の防災訓練への参画 など



4 高齢者の地域コミュニティへの参加促進

高齢者の孤立を防ぎ、社会参加を促進するため、高齢者が参加しやすいように配慮した通いの場の創設・運営をモデル事業として3か年にわたって実施し、そのノウハウ、実施内容をマニュアルにまとめ県内市町村での展開を図る。

○内 容

- ア 対象者 高齢者及びその近親者(配偶者、息子、娘、兄弟姉妹等)
- イ 実施方法 NPO等に委託実施
- ウ 実施か所 11ヶ所(予定)
- エ 事業年度 2019年度から2021年度まで

○特 徴

- ・高齢者のみでなく、近親者も対象とした内容とする
- ・参加者への声かけなどを行うコーディネーターを配置する
- ・同じ内容の繰り返しではなく、多様な活動を行う

※活動例:介護予防を目的とした健康マージャン、健康体操、
コミュニティ カフェの複合開催や多世代交流事業の企画・実施など 6